

JANOME



株主のみなさまへ
第83期報告書

蛇の目マシン工業株式会社

証券コード：6445





代表取締役社長

真壁 八郎

株主のみなさまには、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

また、日頃より暖かいご支援を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

ここに第83期（2008年4月1日から2009年3月31日まで）の事業の概況についてご報告申し上げます。

(1) 事業の状況

当期におきましては、サブプライムローン問題の発生に起因する世界的な金融不安が拡大する中、世界経済の景気後退や株安、急激な為替変動が企業業績に厳しい影響を与えております。

また、消費者購買意欲の急速な減退ならびに企業の設備投資抑制による生産の大幅な減少等が見られ、雇用環境が急速に悪化するなど、深刻な景気後退が続いております。

こうした中、当社グループの家庭用ミシン販売は上半期までは順調に推移しておりましたが、下半期に入り、消費者購買意欲の急速な減退の影響を受け、特に中・高級ミシンの販売が落ち込みました。

産業機器事業におきましても、ロボット・エレクトロプレスの販売が、世界的な設備投資抑制の影響を受け、上半期の販売台数1,300台から下半期600台と急激に落ち込みました。

この結果、当社グループの総売上高は、404億8千7百万円となりました。また、営業利益は4億5千9百万円、経常損益は1億7千1百万円のマイナスとなり、財務の健全性の観点から繰延税金資産を約36億円取崩した結果、当期純損失は50億8千3百万円となりました。

事業セグメント別の概況は次のとおりであります。

<ミシン関連事業>

海外市場におきましては、最上位刺繍機の機能を向上させるなど、顧客ニーズへの対応を強化したことなどから、上半期は前年並みの販売となりました。また、当社が強みとするソーイング・ホビー層向けミシンは欧米市場において比較的堅調な販売を維持しております。

しかしながら、2008年9月の米国に端を発する金融市場の混乱により、欧米各国経済の減速、さらには新興

国経済へと波及したことから、市場が世界的規模で縮小いたしました。この結果、海外市場での販売台数は149万台（前期比9万台減）、**売上高**については、台数減に加えて急激な円高の影響もあり**229億6千8百万円**（前期比47億2千5百万円減）となりました。

国内販売におきましては、消費意欲の減退傾向が進む中で、中・低価格商品を市場に投入し、需要拡大を図る一方、最高級コンピュータミシンのモデルチェンジを行ない、積極的に需要喚起に努めました。その結果、販売台数は23万台（前期比2万台増）となりましたが、平均販売単価の低下傾向に歯止めがかからず、**売上高は73億6千7百万円**（前期比4億1百万円減）となりました。

以上の結果、**ミシン関連事業合計**では総販売台数172万台（前期比7万台減）、**総売上高は303億3千6百万円**（前期比51億2千6百万円減）となりました。

<産業機器事業>

自動車部品、通信機器、コンピュータ関連機器等の生産分野において、生産性向上・品質向上・コスト低減に寄与すべく、顧客との緊密なネットワークを構築し、迅速な技術サービスおよび情報の提供を目指しました。また、拡販のための新商品投入および営業担当者の教育等に注力いたしました。

しかしながら、各産業において過去に例のない規模とスピードで設備投資抑制が進んだことに加え、特に、ダイカスト鑄造関連事業において、下半期に入っでの自動車関連業界の急激な生産数量の減少により、当社も想定外の大きな影響を受けました。

その結果、**産業機器事業の総売上高は、41億5千7百万円**（前期比13億2千万円減）となりました。

<24時間風呂・情報処理他サービス事業等>

24時間風呂販売、ITソフトウェア・情報処理サー

ビス、24時間風呂の据付・メンテナンスサービスなどに、不動産賃貸収入を加えた**情報処理他サービス事業の総売上高は、59億9千3百万円**（前期比4億8千5百万円減）となりました。

当期の配当金につきましては、利益配分のための利益が確保できなかったため、株主のみなさまには誠に申し訳なく存じますが、無配とさせていただきます。

(2) 財政状態

当社グループの当連結会計年度末の**総資産**は、**509億9千7百万円**（前期比73億2百万円減）となりました。

資産の部では、受取手形及び売掛金・たな卸資産等の減少に加え、財務健全化のため繰延税金資産を約36億円取崩したことにより、**509億9千7百万円**（前期比73億2百万円減）となりました。

負債の部では、有利子負債が前期に比べ18億4千2百万円増加しましたが、支払手形及び買掛金の減少等により、**382億5千6百万円**（前期比7億6千1百万円減）となりました。

純資産の部（少数株主持分を含む）は、**127億4千万円**（前期比65億4千万円減）となりました。

当連結会計年度のキャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

税金等調整前当期純利益はマイナスとなりましたが、売上債権・たな卸資産の減少等により、**5億4千3百万円のプラス**となりました。（前期比9億2百万円減）

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

東京工場新3号棟、ジャノメ台湾(株)本館棟の建替費用ならびに生産設備機械費用および新機種に係る金型費

用等の合計 25 億 4 千 1 百万円の設備投資に伴う支出により、**20 億 6 千 1 百万円のマイナス**となりました。(前期比 1 億 3 百万円増)

＜財務活動によるキャッシュ・フロー＞

社債の償還等がありましたが、借入金増加により**22 億 8 百万円のプラス**となりました。(前期比 5 億円増)

以上の結果、当連結会計年度における現金及び現金同等物は前年度末から 5 億 5 百万円増加し**48 億 6 千 6 百万円**となりました。

(3) 今後について

当社グループを取り巻く事業環境は、世界的な景気後退の深刻化を受け、景気を牽引する消費者の消費意欲と企業の設備投資意欲の両輪が世界規模で低迷し、未曾有の不況の長期化が危惧されております。また、為替動向につきましても急激に円高シフトし、その先行きは非常に不透明なものとなっております。

このような現状を踏まえ、以下の課題に対処してまいります。

1. 収益改善への取り組み

当社は当期において、経常損失を計上し、純資産も前期比で大幅減少となった結果、借入金の一部が財務制限条項に抵触いたしております。しかしながら、主要な金融機関からは、期限の利益喪失請求は行なわず、従来通りの支援を継続する旨の了解をいただいておりますことから、資金繰りの問題は生じておりません。更に、こうした状況を改善するため、抜本的な経営体質の改善および収益基盤の強化に取り組んでまいります。

【収益改善計画の骨子】

- ① 本社移転と経営基盤の整備
本社移転を機に開発、生産、営業、管理を一ヶ所に集中することにより、経営資源を最大限活用できるよう効率的な業務体制を構築します。
- ② 国内外生産体制の再編成
不況の影響に伴う生産台数の減少に対応するため、効率的かつ適正な生産体制の構築を図ります。また、部品の現地調達比率を高めると同時に、部品輸送コストを削減するなど、製造コストの低減と価格競争力の強化を図ります。
- ③ 国内外販売体制の再編成
経営資源の効率的運用ならびに再配置を図りながら、代理店販売の強化と新規量販店向けの販路開拓を行ない、地域密着型の適正な営業体制を確立します。
- ④ 経費削減の継続
引き続き、徹底した経費の削減により収益の改善を図ります。

2. コーポレートガバナンスの更なる向上

C S R 経営を強化するとともに、内部統制およびリスクマネジメントをより一層推進してまいります。

2010 年 3 月期の連結業績予想につきましては、売上高 370 億円（前期比 8.6% 減）、営業利益 10 億円（前期比 117.5% 増）、経常利益 5 億円、純利益は 6 億円を計画しております。

株主のみなさまにおかれましては、変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2009 年 6 月

※詳細につきましては、当社ホームページをご覧ください。

ホームページ <http://www.janome.co.jp>

連結財務諸表

連結貸借対照表 (2009年3月31日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	19,114	流動負債	18,635
現金及び預金	5,548	支払手形及び買掛金	2,221
受取手形及び売掛金	5,937	短期借入金	13,900
有価証券	20	未払法人税等	277
商品及び製品	4,565	賞与引当金	370
仕掛品	508	その他	1,866
原材料及び貯蔵品	1,678		
繰延税金資産	490	固定負債	19,620
その他	512	社 債	860
貸倒引当金	△ 148	長期借入金	8,092
		再評価に係る繰延税金負債	5,082
固定資産	31,883	退職給付引当金	4,633
有形固定資産	26,251	その他	950
建物及び構築物	7,548		
機械装置及び運搬具	1,075	負債合計	38,256
土地	16,434	(純資産の部)	
建設仮勘定	281	株主資本	10,026
その他	912	資 本 金	11,372
		資本剰余金	823
無形固定資産	1,824	利益剰余金	△ 1,844
のれん	1,237	自己株式	△ 325
その他	586		
		評価・換算差額等	2,172
投資その他の資産	3,806	その他有価証券評価差額金	△ 53
投資有価証券	1,230	繰延ヘッジ損益	△ 4
繰延税金資産	1,766	土地再評価差額金	4,295
その他	922	為替換算調整勘定	△ 2,065
貸倒引当金	△ 112	少数株主持分	541
		純資産合計	12,740
資産合計	50,997	負債純資産合計	50,997

連結損益計算書 (2008年4月1日から2009年3月31日まで)

(単位：百万円)

科 目	金	額
売 上 高		40,487
売 上 原 価		22,065
売 上 総 利 益		18,422
販売費及び一般管理費		17,962
営 業 利 益		459
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	29	
受 取 配 当 金	23	
受 取 補 償 金	120	
そ の 他	138	311
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	499	
為 替 差 損	243	
そ の 他	200	942
経 常 損 失		171
特 別 利 益		
固 定 資 産 売 却 益	4	4
特 別 損 失		
固 定 資 産 売 却 及 び 除 却 損	226	
減 損 損 失	80	
投 資 有 価 証 券 評 価 損	268	
関 係 会 社 整 理 損	348	924
税 金 等 調 整 前 当 期 純 損 失		1,091
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	309	
法 人 税 等 調 整 額	3,623	3,933
少 数 株 主 利 益		59
当 期 純 損 失		5,083

連結キャッシュ・フロー計算書 (2008年4月1日から2009年3月31日まで)

(単位：百万円)

科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	543
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,061
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,208
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 186
現金及び現金同等物の増加額	505
現金及び現金同等物の期首残高	4,361
現金及び現金同等物の期末残高	4,866

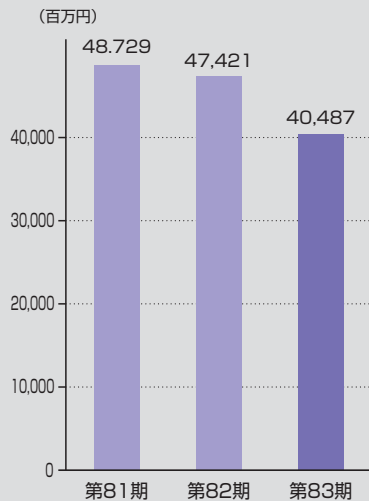
連結株主資本等変動計算書 (2008年4月1日から2009年3月31日まで)

(単位：百万円)

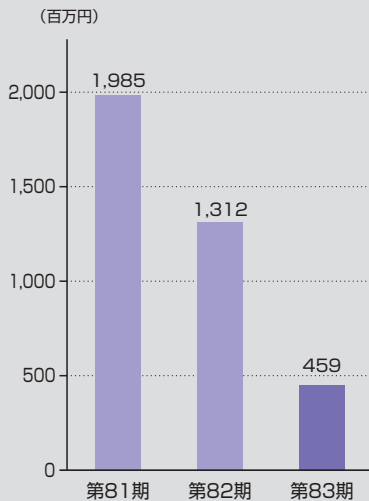
	株 主 資 本					評価・換算 差 額 等	少数株主持分	純資産合計
	資 本 金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
2008年3月31日 残高	11,372	823	3,704	△ 325	15,575	3,135	570	19,281
連結会計年度中の変動額								
在外子会社の会計処理の変更に伴う増減			△ 504		△ 504			△ 504
当期純損失			△ 5,083		△ 5,083			△ 5,083
自己株式の取得				△ 0	△ 0			△ 0
自己株式の処分		△ 0	△ 0	0	0			0
土地再評価差額金の取崩			38		38			38
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)						△ 962	△ 28	△ 991
連結会計年度中の変動額合計	-	△ 0	△ 5,549	0	△ 5,549	△ 962	△ 28	△ 6,540
2009年3月31日 残高	11,372	823	△ 1,844	△ 325	10,026	2,172	541	12,740

連結決算推移

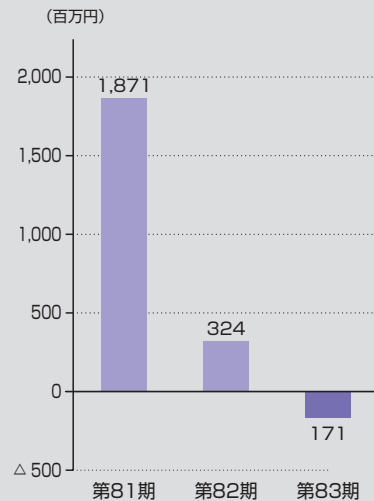
●売上高



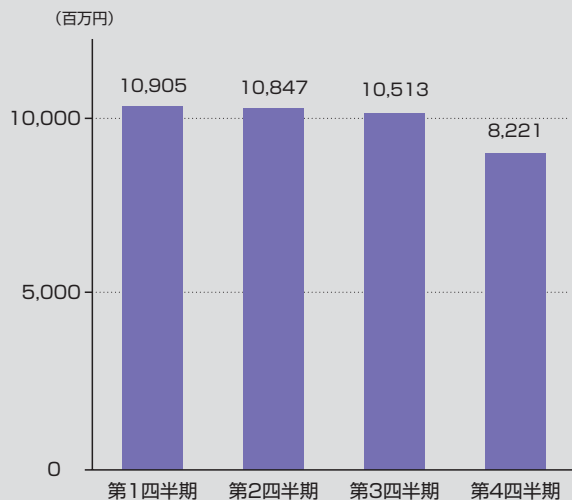
●営業利益



●経常利益

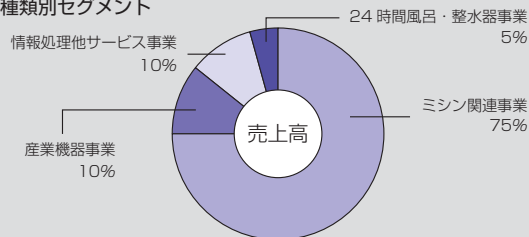


●四半期売上高推移 (2008年4月1日~2009年3月31日)

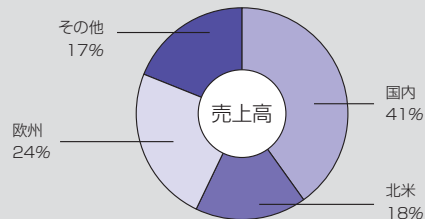


●連結セグメント情報 (2008年4月1日~2009年3月31日)

事業の種類別セグメント



地域別セグメント



個別財務諸表

個別貸借対照表 (2009年3月31日現在)

(単位: 百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	12,534	流動負債	16,729
現金及び預金	3,621	支払手形	226
受取手形	587	買掛金	3,421
売掛金	3,968	短期借入金	11,711
有価証券	20	未払金	64
商品及び製品	1,314	未払費用	542
原材料	909	未払法人税等	131
仕掛品	93	預り金	83
貯蔵品	46	賞与引当金	202
前払費用	61	その他の流動負債	346
繰延税金資産	217		
短期貸付金	1,523	固定負債	17,391
その他の流動資産	179	社 債	800
貸倒引当金	△ 10	長期借入金	7,986
		再評価に係る繰延税金負債	5,082
固定資産	33,359	退職給付引当金	2,708
有形固定資産	22,734	未払功労金	429
建 物	6,073	預り保証金	203
構 築 物	273	その他固定負債	180
機械及び装置	71		
車輛及び運搬具	2	負債合計	34,120
工具器具及び備品	390	(純資産の部)	
土 地	15,648	株 主 資 本	7,531
建設仮勘定	274	資 本 金	11,372
		資本剰余金	823
無形固定資産	583	資本準備金	823
借地借家権	410	利益剰余金	△ 4,340
その他の無形固定資産	172	利益準備金	39
		その他利益剰余金	△ 4,379
投資その他の資産	10,041	繰越利益剰余金	△ 4,379
投資有価証券	1,163	自 己 株 式	△ 325
関係会社株式	6,842	評価・換算差額等	4,241
長期貸付金	322	その他有価証券評価差額金	△ 49
繰延税金資産	1,195	繰延ヘッジ損益	△ 4
その他の投資等	630	土地再評価差額金	4,295
貸倒引当金	△ 113		
		純資産合計	11,772
資産合計	45,893	負債純資産合計	45,893

個別損益計算書 (2008年4月1日から2009年3月31日まで) (単位: 百万円)

科 目	金 額	金 額
売 上 高		30,809
売上原価		21,449
売上総利益		9,359
販売費及び一般管理費		9,188
営業利益		171
営業外収益		
受取利息	74	
有価証券利息	1	
受取配当金	417	
その他	156	649
営業外費用		
支払利息	387	
為替差損	365	
その他	163	916
経常損失		95
特別損失		
固定資産売却及び除却損	188	
減損損失	80	
投資有価証券評価損	241	
関係会社整理損	462	972
税引前当期純損失		1,067
法人税、住民税及び事業税	177	
法人税等調整額	3,448	3,626
当期純損失		4,694

個別株主資本等変動計算書 (2008年4月1日から2009年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株 主 資 本					評価・換算差額等	純資産合計
	資 本 金	資本剰余金	利益剰余金	自 己 株 式	株主資本合計		
2008年3月31日 残高	11,372	823	315	△ 325	12,186	4,260	16,447
事業年度中の変動額							
当期純損失			△ 4,694		△ 4,694		△ 4,694
自己株式の取得				△ 0	△ 0		△ 0
自己株式の処分		△ 0	△ 0	0	0		0
土地評価差額金取崩			38		38		38
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額 (純額)						△ 18	△ 18
事業年度中の変動額合計	-	△ 0	△ 4,655	0	△ 4,655	△ 18	△ 4,674
2009年3月31日 残高	11,372	823	△ 4,340	△ 325	7,531	4,241	11,772

株式の状況 (2009年3月31日現在)

発行可能株式総数 3億6,000万株
 発行済株式総数 1億9,521万4,448株
 当期末株主数 22,113名 (前期末比1,187名減)

株主構成比率 (所有株式数ベース)



●セシオ11500 **新製品**

セシオ11500は、「人生における大切なシーンをハンドメイドで彩る」をコンセプトに、初心者から上級者まで、結婚、出産、入園・入学など、特別なシーンを手づくり作品で迎えたいくなるような充実した機能を備えました。実用縫いはもちろんのこと、刺しゅう、パッチワーク・キルト、飾り模様縫い、シェルタックなどの装飾縫い、文字縫いなどあらゆるソーイングがこのミシン1台で楽しめます。



●本社移転のお知らせ

当社はミシンメーカーとして、1921年（大正10年）に創業いたしました。その後、1965年（昭和40年8月）、現中央区京橋に本社を構え、長きに亘り、家庭用ミシンの開発・生産・販売に取り組んでまいりました。この間、当社製品は、100を超える世界の国の人々から愛用され、昨年7月には累計生産台数が5,000万台を達成するにまで発展してまいりました。

この度、開発・生産・営業・管理部門等の経営資源を集中し、企業基盤の強化、一層の経営効率化を図るため、本社を東京都八王子市（現 八王子地区事業所内）に移転いたします。

移転先住所

〒193-0941 東京都八王子市狭間町1463番地 TEL 042(661)3071 (2009年7月6日より)



八王子地区事業所全景（中央は今年4月に完成した3号棟）



八王子地区事業所

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	毎年3月31日
株主名簿管理人 および特別口座の 口座管理機関	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同連絡先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-78-2031 (フリーダイヤル) 取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全国各支店ならびに日本証券代行株式 会社の本店および全国各支店でなっております。
公告の方法	電子公告の方法により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告を することができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
公告掲載のURL	http://www.janome.co.jp

株式のお手続き等についてのご注意

1. 住所変更等、弊社株式に関する手続きにつきましては、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）にお問合せください。
2. 特別口座の株式に関する各種お手続きにつきましては、中央三井信託銀行株式会社が口座管理機関となっておりますので、上記連絡先にお問い合わせください。
3. 株券電子化に伴い、株主さまのお名前などに（株）証券保管振替機構で指定されていない文字が含まれる場合は、通知物のあて名の一部または全部が同社の指定する文字に置き換えられることがありますので、あらかじめご了承ください。株主さまのお名前などの登録されている文字につきましては、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

蛇の目ミシン工業株式会社

〒104-8311 東京都中央区京橋3-1-1 TEL. 03(3277)2071

※本社移転に伴い7月6日（月）からは連絡先が以下のとおり変更となりますのでご注意ください。

〒193-0941 東京都八王子市狭間町1463番地 TEL. 042(661)3071